

問題

右の図1、図2は、「地域経済分析システム（RE S A S）」から作成した、東京都のA市とB市の「地域経済循環図」（2013年）です。以下の問に答えなさい。

今、地域経済はさまざまな問題を抱えています。地域を元気あるものにするためには、地域経済をうまく循環させることが必要だと考えられています。つまり、

- ① その地域で「生産」したものを売って得た利益を、できるだけ、その地域で「分配」する。
- ② その分配された「所得」を、できるだけ、その地域で「支出」する。

この経済循環がうまく回れば、仕事も増え、人も増え、税収も増えるのでは、と期待されるのです。

問1 図1と図2の「雇用者所得」と「民間消費額」を比較すると、A市とB市はそれぞれどのような地域であると推察されるか。その特徴と根拠を300字以内で述べなさい。

問2 下の2つの地域の事例(1)、(2)を読み、「地域経済をうまく循環させる」という観点から、2つの地域C、Eに共通する問題点を指摘し、どのように改善すべきかを300字以内で述べなさい。

(1) ある県のCという島では、リンゴジュースを、商店がフェリーで島外のD県から取り寄せ、それを島民は買って飲んでいる。島内では作られていないからだ。しかしその原材料のリンゴは、多くがC島で採れたもので、D県の工場でジュースに加工されているのだった。

(2) E県の辛子明太子の消費量は、全国平均を上回っている。主に辛子明太子を特産品とするF県から取り寄せているのだが、原料のスケソウダラはF県では獲れない。F県はE県で獲れたものを使って辛子明太子に加工しているのだった。

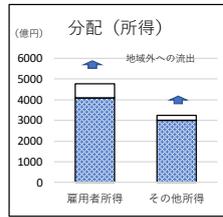
図1 A市

生産（付加価値額）		
第1次産業	12	
第2次産業	1093	
第3次産業	6914	

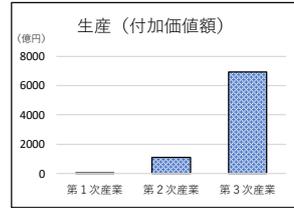
分配（所得）		
雇用者所得	4079	686
其他所得	3017	236

支出			
民間消費額	4364	1549	
民間投資額	961	0	258
其他支出	1144	0	369

所得への分配
8,018億円

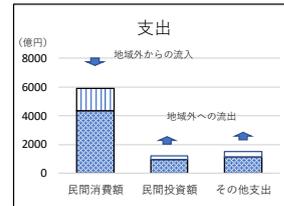


※左図は、A市の企業や商店が稼いだ「付加価値額」がどのように所得として分配されたかを示す。雇用者に支払われた「雇用者所得」（給料）と「其他所得」に分かれている。
各棒グラフは、A市の住民や企業などが得た所得の総額を表す。A市の場合、**市内の住民・企業などが得る所得より、市内の企業や商店などが支払う給料等が多い**ので、その差額が空白の四角で表されている（この部分の所得が地域外へ流出している）。



※上図は、A市が生産した商品やサービス等を販売して得た金額から原材料費や外注費などを差し引いた金額（付加価値額）を示す。

支出による生産への還流
8,018億円



※上図は、A市の住民・企業などが得た所得がどのように使われたかを示す。住民の消費などを表す「民間消費額」とそれ以外の支出に分かれている。
各棒グラフは、A市内で消費・投資された総額を表す。「民間消費額」のグラフでは、**A市の住民が支出した金額より、市内で使われた金額が多い**ので、その差額が縦縞の網掛けで表されている（この部分の支出が地域外から流入している）。

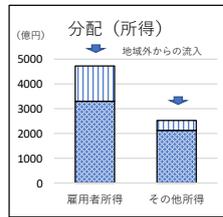
図2 B市

生産（付加価値額）		
第1次産業	11	
第2次産業	964	
第3次産業	4475	

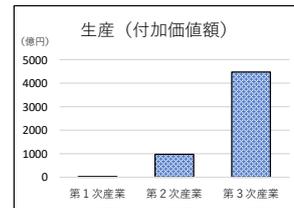
分配（所得）		
雇用者所得	3315	1417
其他所得	2136	394

支出			
民間消費額	3734	0	1328
民間投資額	647	0	163
其他支出	1071	0	320

所得への分配
5,451億円



※左図は、B市の所得図である。
B市の場合、**市内の住民・企業などが得る所得より、市内の企業や商店などが支払う給料等が少ない**ので、その差額が縦縞の網掛けで表されている。



※上図は、B市の支出図である。
「民間消費額」のグラフは、**市内の住民が支出した金額より、市内で使われた金額が少ない**ので、その差額が空白の四角で表されている。

支出による生産への還流
5,451億円

